

世界株式・クオンツ・ ロングショートファンド (為替ヘッジあり／ 年4回決算型)

追加型投信／内外／株式／特殊型(ロング・ショート型)

日経新聞掲載名：世クロ年4有

第1作成期 2025年11月21日から2026年5月18日まで

第1期 決算日
2026年2月16日

第2期 決算日
2026年5月18日



受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、実質的に世界の先進国・地域の上場株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

当作成期の状況

基準価額(作成期末)	9,517円
純資産総額(作成期末)	889百万円
騰落率(当作成期)	-4.8%
分配金合計(当作成期)	0円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976

受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

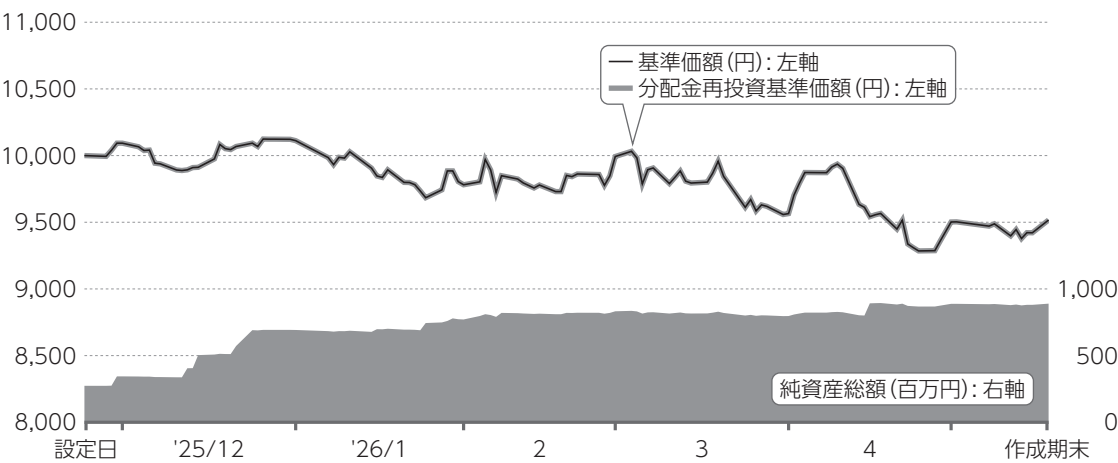
当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移について(2025年11月21日から2026年5月18日まで)

基準価額等の推移



設 定 日	10,000円
作成期末	9,517円 (当作成期既払分配金0円(税引前))
騰 落 率	-4.8% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因(2025年11月21日から2026年5月18日まで)

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、世界の先進国・地域の上場株式を対象としたロングショート運用を行いました。

実質組入外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いました。

上昇要因

- 企業決算や米国の景気指標の堅調さなどを背景に、世界の株式市場が上昇したこと(当ファンドは、世界の株式市場に対して半分程度の市場連動性を有します)

下落要因

- 「低リスク」ファクター戦略(低リスク銘柄をロングし、高リスク銘柄をショート)が不振であったこと
- 「高クオリティ」ファクター戦略(高クオリティ銘柄をロングし、低クオリティ銘柄をショート)が不振であったこと

1万口当たりの費用明細(2025年11月21日から2026年5月18日まで)

項 目	金額	比率	項目の概要
(a) 信 託 報 酬	54円	0.555%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は9,805円です。
(投 信 会 社)	(16)	(0.162)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販 売 会 社)	(37)	(0.377)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの 管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実 行等の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(－)	(－)	
(先物・オプション)	(－)	(－)	
(投資信託証券)	(－)	(－)	
(c) 有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(－)	(－)	
(公 社 債)	(－)	(－)	
(投資信託証券)	(－)	(－)	
(d) そ の 他 費 用	0	0.002	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(－)	(－)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および 資金の送回金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
(そ の 他)	(－)	(－)	そ の 他:信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	55	0.558	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

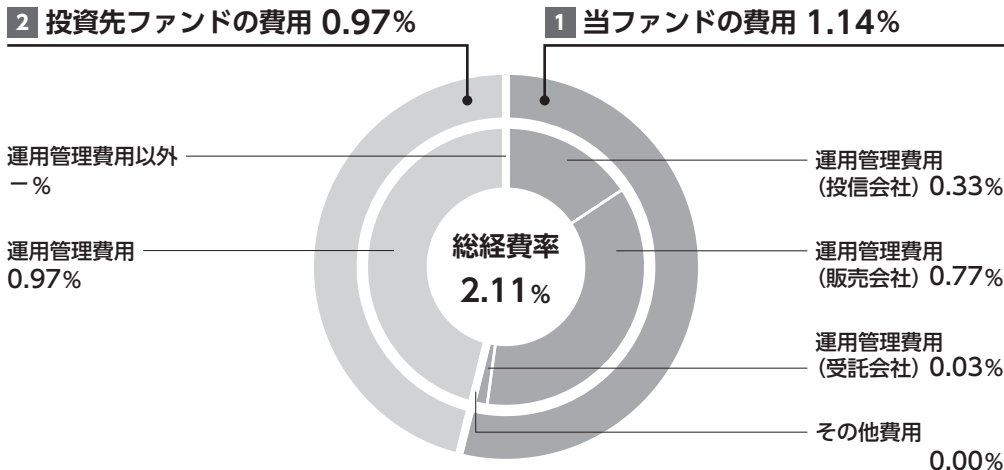
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率(年率換算)



総経費率(1 + 2)	2.11%
1 当ファンドの費用の比率	1.14%
2 投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.97%
投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	ー%

※**1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※**2**の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、直近の費用の詳細データが入手できていないため、目論見書に記載している「運用管理費用」の料率を使用しています。運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれていません。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、費用を計算しています。

※**1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

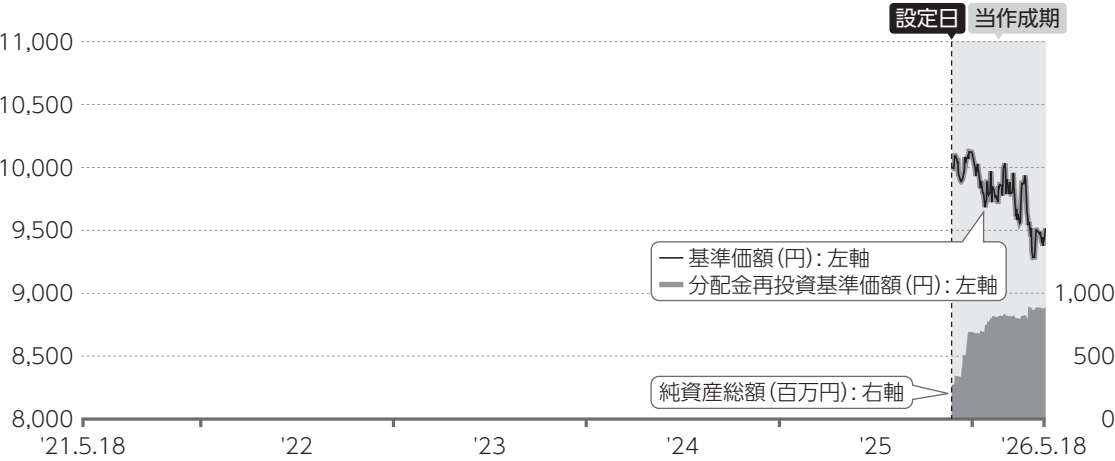
※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は2.11%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2021年5月18日から2026年5月18日まで)

当ファンドは、ファンド設定後5年間を経過していないため、設定日(2025年11月21日)以降の情報を記載しています。

最近5年間の推移



		2025.11.21 設定日	2026.5.18 決算日
基準価額	(円)	10,000	9,517
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	-4.8
純資産総額	(百万円)	273	889

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

投資環境について(2025年11月21日から2026年5月18日まで)

世界の株式市場は、上昇しました。

株式市場

世界の株式市場は、上昇しました。

関税問題の懸念後退や底堅い米国企業業績、2026年以降の米国の利下げ打ち止め観測やAI関連の過剰投資懸念など、好悪材料が交錯して、2026年初までレンジ内の値動きで推移しました。1月には米国によるベネズエラへの武力介入、中東情勢緊迫化など、地政学リスクが意識され、さらにAI代替懸念によるソフトウェア関連銘柄の売りにより、上値が重い展開となりました。

その後、2月末に米国とイスラエルがイ

ランへの軍事行動を開始し、雇用統計の悪化によって景気の先行き不透明感も強まったことから市場は下落しました。原油価格の上昇などによりインフレ懸念が一段と強まり、F R B(米連邦準備制度理事会)の利下げ期待が後退する中で、イランでの戦闘長期化に対する懸念が強まったことも重なり、市場は一段安となりました。

4月以降は、米国とイランの和平協議進展や原油価格の安定化期待、景気指標や企業決算の堅調さを背景に半導体関連銘柄などを中心に上昇基調となりました。

ポートフォリオについて(2025年11月21日から2026年5月18日まで)

当ファンド

「AQR ルクス ファンズ – AQR デルファイ・ロングーショート・エクイティ・ファンド(クラス A – J P Y ヘッジド)」と「マネー・トラスト・マザーファンド」を主な投資対象とし、期を通じて「AQR ルクス ファンズ – AQR デルファイ・ロングーショート・エクイティ・ファンド(クラス A

– J P Y ヘッジド)」を高位に組み入れました。

AQR ルクス ファンズ – AQR デルファイ・ロングーショート・エクイティ・ファンド(クラス A – J P Y ヘッジド)

当ファンドは世界の先進国・地域の上場株式を対象としたシステムティックなロン

グショート戦略であり、国、通貨、業種への過度な偏りを抑制し、低リスクや高クオリティな銘柄を重視することで、一定の市場エクスポージャーを維持しながら株式市場をアウトパフォームすることを目指しています。

今期においては世界の株式市場は上昇したものの、2026年以降に「低リスク」ファクター戦略、「高クオリティ」ファクター戦略の不振が目立ち、特に、2026年3月末以降は半導体関連銘柄を中心としたテーマ株物色の広がりに加え、地政学リスクの後退やインフレ警戒感の緩和などを背景に、いわ

ゆる「ジャンクラリー」と呼ばれる低クオリティ企業への資金流入が強まる局面となりました。このような市場環境下では、低リスクや高クオリティな銘柄を選好する当ファンドにとっては、相対的に厳しい運用環境となりました。

マネー・トラスト・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について(2025年11月21日から2026年5月18日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2025年11月21日から2026年5月18日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項 目	第1期	第2期
当期分配金	0	0
(対基準価額比率)	(0.00%)	(0.00%)
当期の収益	－	－
当期の収益以外	－	－
翌期繰越分配対象額	0	0

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、左記の通りいたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

「AQR ルクス ファンズ – AQR デルファイ・ロング・ショート・エクイティ・ファンド(クラス A – JPY ヘッジド)」と「マネー・トラスト・マザーファンド」を主な投資対象とし、期を通じて「AQR ルクス ファンズ – AQR デルファイ・ロング・ショート・エクイティ・ファンド(クラス A – JPY ヘッジド)」を高位に組み入れます。

AQR ルクス ファンズ – AQR デルファイ・ロング・ショート・エクイティ・ファンド (クラス A – JPY ヘッジド)

引き続き、国、通貨、業種への過度な偏りを抑制し、低リスクや高クオリティな銘柄を重視することで、一定の市場エクスポージャーを維持しながら株式市場をアウトパフォームすることを目指します。

マネー・トラスト・マザーファンド

円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

3 お知らせ

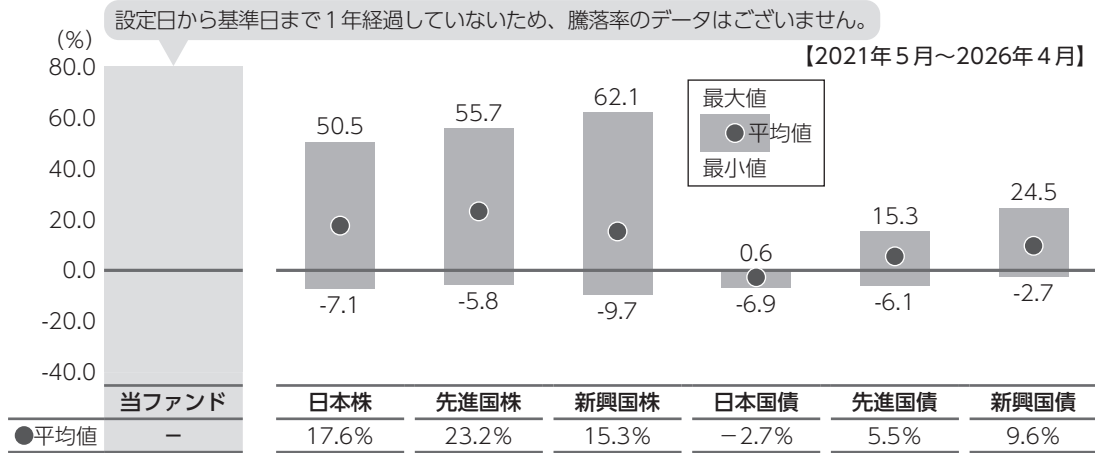
約款変更について

- 「一般社団法人投資信託協会」を「一般社団法人資産運用業協会」へ名称を変更することとなったため、信託約款に所要の変更を行いました。
(適用日：2026年4月1日)

4 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／株式／特殊型(ロング・ショート型)
信 託 期 間	2025年11月21日から2035年11月20日まで
運 用 方 針	投資信託証券への投資を通じて、実質的に世界の先進国・地域の上場株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主 要 投 資 対 象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 AQR ルクス ファンズ – AQR デルファイ・ロング–ショート・エクイティ・ファンド(クラス A – JPY ヘッジド) 世界の先進国・地域の株式または株式関連商品 マネー・トラスト・マザーファンド 円貨建ての短期公社債および短期金融商品
当 ファ ン ド の 運 用 方 法	■世界の先進国・地域の上場株式を対象としたロングショート運用を行います。 ■世界の株式市場に対するポートフォリオの市場連動性を抑え、信託財産の中長期的な成長を目指します。 ■投資対象とする外国投資信託の運用は、AQR キャピタル・マネジメント,エルエルシーが行います。 ■実質組入外貨建資産については、対円での為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、完全に為替変動リスクを回避することはできません。
組 入 制 限	■外貨建資産への直接投資は行いません。
分 配 方 針	■年4回(原則として毎年2月、5月、8月、11月の16日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。
※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

	配当込みTOPIX(TOPIX(東証株価指数、配当込み))
日本株	日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」といいます。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。
	MSCIコクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース)
先進国株	MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。同指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース)
新興国株	MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。同指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
	NOMURA-BPI(国債)
日本国債	野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。NOMURA-BPIに関する一切の知的財産権その他の一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しております。また、同社は、ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。
	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)
先進国債	FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。同指数に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。同社は、当ファンドのスポンサーではなく、当ファンドの推奨、販売あるいは販売促進活動を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、同社は、当該データの正確性および完全性を保証せず、データの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。
	JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)
新興国債	J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。同指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利はJ.P. Morganに帰属します。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

6 当ファンドのデータ

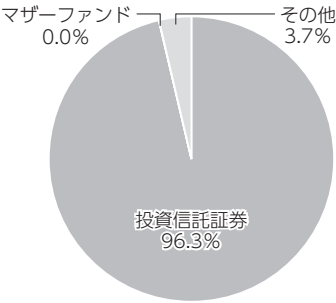
当ファンドの組入資産の内容(2026年5月18日)

組入れファンド等

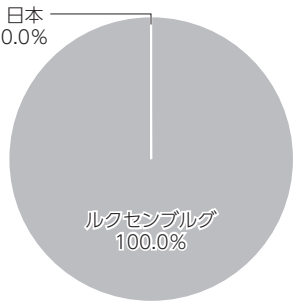
銘柄名	組入比率
AQR ルクス ファンズ - AQR デルファイ・ロングーショート・エクイティ・ファンド(クラス A - J P Y ヘッジド)	96.3%
マネー・トラスト・マザーファンド	0.0%
コールローン等、その他	3.7%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

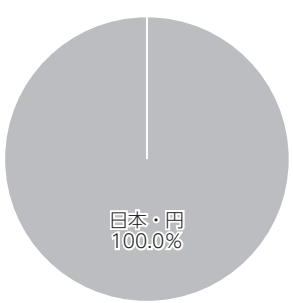
資産別配分(純資産総額比)



国別配分(ポートフォリオ比)



通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

純資産等

項目		第1期末	第2期末
		2026年2月16日	2026年5月18日
純資産総額	(円)	810,392,514	889,612,793
受益権総口数	(口)	832,844,134	934,733,304
1万口当たり基準価額	(円)	9,730	9,517

※当作成期における、追加設定元本額は661,213,245円、解約元本額は0円です。

組入上位ファンドの概要

「AQR ルクス ファンズ － AQR デルファイ・ロングーショート・エクイティ・ファンド (クラス A － JPY ヘッジド)」は直近のデータが入手できないため、記載すべきデータはございません。